

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年6月19日 (2008.6.19)

【公表番号】特表2007-532271(P2007-532271A)
 【公表日】平成19年11月15日 (2007.11.15)
 【年通号数】公開・登録公報2007-044
 【出願番号】特願2007-508642(P2007-508642)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成20年4月18日 (2008.4.18)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 6
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 3 6】

展開中、二次ストラット 3 0 は拡張してまず血管内でフィルタを集中させるか或いは均
 衡化する。二次ストラットの自由端部が送出し管 4 8 または 5 0 の遠位端部から出ると、
 二次ストラット 3 0 は図 6 a および 6 b に示されるように拡張位置まで拡張する。第 2 円
弧部 4 2 は、血管の内壁と係合する。二次ストラット 3 0 の第 2 円弧部 4 2 は血管の中心
 のまわりにフィルタ 1 0 の姿勢を安定化するように機能する。頸静脈を通して送出すと（
 図 6 b）、次いでフィルタ 1 0 が十分に展開されるまでプッシュワイヤ（図示せず）によ
 りフィルタ 1 0 を更に押し込む。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 7
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 3 7】

フィルタ 1 0 が大静脈内で十分に展開されると、一次ストラット 1 2 の固定フック 2 6
 および二次ストラット 3 0 の第 2 円弧部 4 2 が血管との係合状態になる。一次ストラット
 1 2 の固定フック 2 6 はフィルタ 1 0 を血管内の展開位置に固定して、フィルタ 1 0 が血
 液の流れと共に血管を通して移動するのを防ぐ。その結果、フィルタ 1 0 はその長さに沿
 って軸方向に間隔を隔てられている 2 組のストラットにより支持される。